

2020年2月5日

報道関係各位

東京商工会議所

東京2020大会期間中の経済界による独自ボランティア「サポートキャスト」 1,800名を超える規模で共通研修スタート (オリンピック・パラリンピック等経済界協議会と共同実施)

東京商工会議所（三村明夫会頭）およびオリンピック・パラリンピック等経済界協議会（豊田章男会長）は、2月10日（月）から、東京2020大会期間中の経済界による独自のボランティア活動「サポートキャスト」の共通研修を実施します。

「サポートキャスト」とは、東京商工会議所およびオリンピック・パラリンピック等経済界協議会の加盟企業の社員が、東京2020大会期間中、特に混雑が想定される都内主要駅において、おもてなし・ボランティア活動を展開する取り組みです。この「サポートキャスト」には、2019年11月から募集を開始し、延べ1,800名を超える応募をいただきました。

本研修は、日本財団ボランティアサポートセンターの協力のもと、「サポートキャスト」の役割や心のバリアフリーを学んでいただくことを目的に開催するものです。2月10日（月）を皮切りに、3月まで全16回開催します。（初回約130名参加予定）

2月10日（月）の研修初日の取材をご希望の場合は、2月7日（金）正午までに別紙にてお申込みください。お申し込みいただいた各社に当日の取材要領をお送りします。

サポートキャスト共通研修について

SUPPORT CAST



対象	サポートキャストに応募したボランティア参加者 ※募集締切済み
開催日	【初回】2020年2月10日（月）15時～16時20分 ※2020年3月まで全16回開催予定。参加者は内1回受講。
会場	【初回】東京商工会議所「Room A3・4・5」 （千代田区丸の内3-2-2丸の内二重橋ビル5階）
内容	サポートキャストについて、心のバリアフリーについて 等
協力	日本財団ボランティアサポートセンター

<主な参加企業>

アクサ生命保険(株)、いであ(株)、(株)伊藤園、AGC(株)、SMK(株)、鹿島建設(株)、キハラ(株)、大成建設(株)、東京ガス(株)、東工・バレックス(株)、トヨタ自動車(株)、日本電気(株)、日本電信電話(株)、野村ホールディングス(株)、パナソニック(株)、富士通(株)、(株)ブリヂストン、三井住友海上火災保険(株)、(株)三井住友銀行 等

サポートキャストとは

- 活動内容 ①駅での声かけ・サポート運動 ②交通混雑の緩和・輸送円滑化への協力（TDM 推進）
③観戦客・観光客の歓迎とおもてなし
- 活動期間 オリンピック競技大会期間（2020年7月24日（金）～8月9日（日））
パラリンピック競技大会期間（2020年8月25日（火）～9月6日（日））
- 活動場所 東京駅、大手町駅、新橋駅、高輪ゲートウェイ駅

【本件に関する問い合わせ先】東京商工会議所 地域振興部 佐藤・進藤 TEL：03-3283-7634

【取材に関する問い合わせ先】東京商工会議所 広報部 高橋・近野 TEL：03-3283-7696